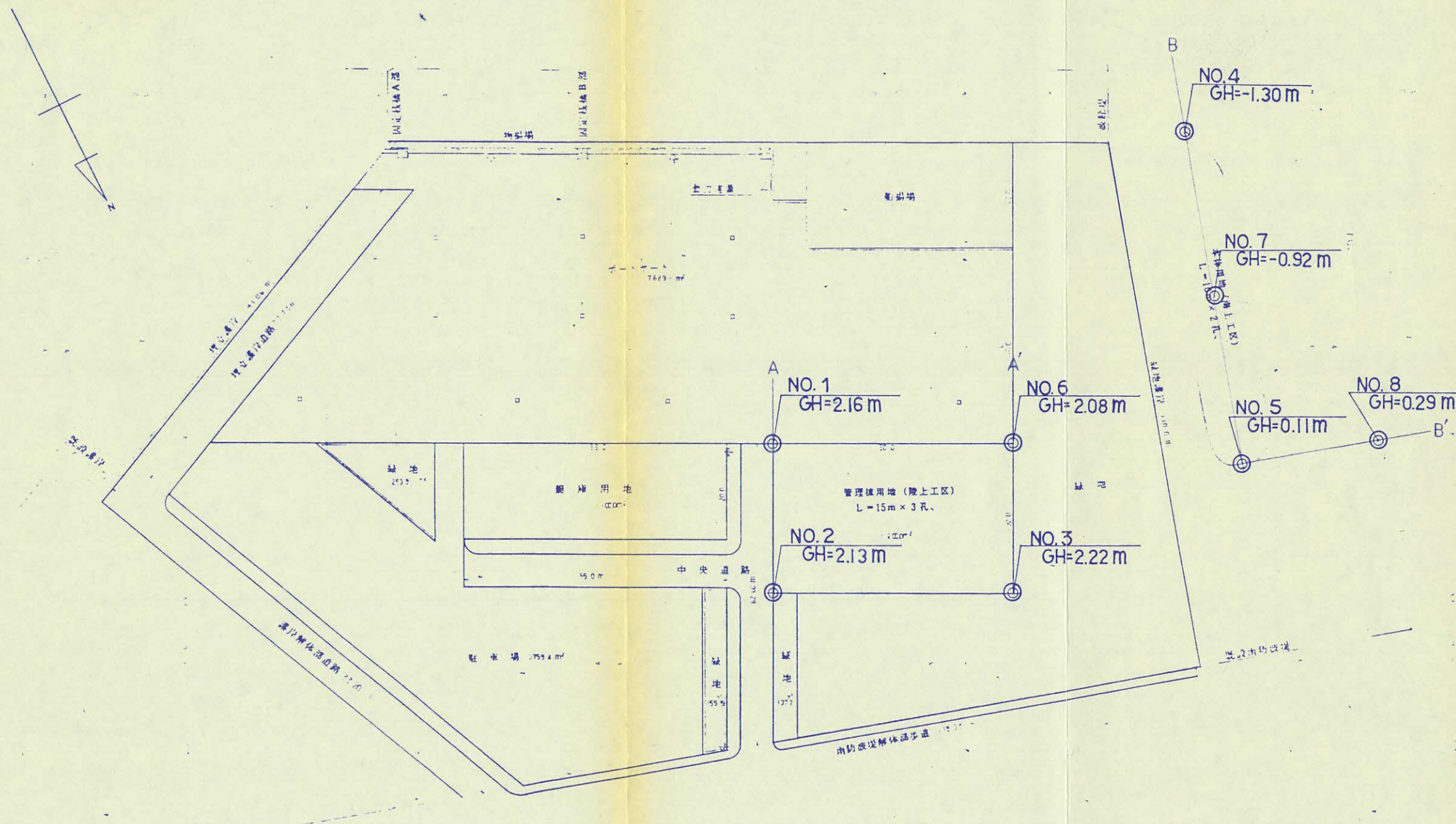




2

ボーリング柱状図

調査名 青少年研修施設（開陽丸）地質調査委託業務

事業・工事名

ボーリング名	No. 2		調査位置		江差町		北緯	
発注機関	財団法人 開陽丸青少年センター		調査期間		昭和63年 7月16日～		東経	
調査業者名	常盤ボーリング株式会社 電話(011-751-4841)		主任技師		現代人		コ	ボーリング グ責任者
孔口標高	G H = 2.13 m		方 向		北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		ハンマー 落下用具	
総掘進長	7.00 m		角 度		180° 上 90° 下 0°		トンビ法	
					使用機種		エンジン ヤンマー製 NF-110型	
					地盤 配		ポンプ	
					鉛直 90° 水平 0°			

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色相対密度調度	記事	孔内水位 (m)	標準貫入試験	原位置試験	採取方法	室内試験()
(m)	(m)	(m)	(m)					/測定月日	N 値 — ○ — (m)	試験名 および結果	深 度 (m)	試料番号
1					盛土	暗灰	泥質砂岩の盛土	7/16 208 辛	10cmごとの 打撃回数 0 10 20 〃 〃 〃 10 20 30	10cmごとの 打撃回数 0 10 20 〃 〃 〃 10 20 30	12 30	
2									12 30			
3	-0.77	290	290		旧表土	暗褐			7 30			
4	-1.37	050	350						50 8			
5					泥質砂岩	暗灰	上部20~30cm位風化 全体に新鮮で棒状コアを採取		50 7			
6									50 4			
7	-4.87	350	700						50 5			

第2-3図 ボーリング柱状図

調查名稱

事業・工事名

[illegible]

ボーリング名	No. 3		調査位置		江差町		北緯		シートNo.	
発注機関	財団法人 開陽丸青少年センター				昭和63年 7月16日～		年月日		東経	
調査業者名	常盤ボーリング株式会社 電話(011-751-4841)		主任技師		現場代理人		コプア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	G H = 2.22 m		北 270° 西 90° 東 180° 南		地盤 盤 公 配		水平 90° 鉛直		使用機種	
総掘進長	8.00 m		角 度 上 下 90° 180°		方 向		ハンマー 落下用具		トンビ法	
					エンジン		ヤンマー製 NF-110型		カノーV6-A	

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色相対比稠度	記
(m)	(m)	(m)	(m)				
1	-118	340	340		盛土	暗灰	0.30mまで礫混じり土 下部泥質砂岩の盛土
2	-238	120	460		目録混じり細砂	中ぐらゐ	粗子の混入やや多い
3	-528	290	750		風化凝灰岩	黄灰	軽石混入 風化が著しい
4	-578	050	800		花崗砂岩	暗灰	風化が少なく新鮮

第2-4 図 ボーリング柱状図

調査名 青少年研修施設建設（閉陽丸）地質調査委託業務

ボーリングNo.

事業・工事名

ボーリング名	N o . 4		調査位置	江 差 町		シートNo.
発注機関	財団法人 閉陽丸青少年センター		調査期間	昭和63年 7月10日～63年 7月11日		北 緯
調査業者名	常盤ボーリング株式会社 電話(011-751-4841)		現場代理人	アコ鑑定者		東 経
孔口標高	G H = -1.30m	方 向	試錐機	試錐機	ハンマー	ボーリング責任者
総掘進長	10.00m	角 度	エンジン	ヤンマー製 NF-110型	ポンプ	トンビ法
			使用機種			カノーV6-A

標 尺	層 厚	柱 深	土 質 区 分	色 相 対 密 度	記 事	標準貫入試験	原位置試験	試験採取	室内試験
(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	N 値	深 度 (m)	深 度 (m)	採取方法
-180 050	050	050	砂質土	黄褐色	部分的に中粒砂を混入	102030	0.65	0.65	採取方法
1						35 15 50	0.83 44 50	0.83 44 50	
2						150 50 50	152 50 50	152 50 50	
3						250 50 50	259 50 50	259 50 50	
4						350 50 50	354 50 50	354 50 50	
5						450 50 50	457 50 50	457 50 50	
6									
7									
8									
9									
10									

第 2-5 卷

調査名 青少年研修施設（開陽丸）地質調査委託業務

事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	N o . 5		調査位置		江 菱 町		北 緯		シートNo.
発注機関	財団法人 岡陽丸 青少年センター				昭和63年 7月13日～63年 7月14日		東 経		
調査業者名	常 盟 ボーリング株式会社 電話(011-751-4841)				主 任 技 師		ボーリング 責任者		
孔口標高	G H ₁ = 0.11 m		方 向		地盤勾配		コ ン 鑑 定 者		
総掘進長	7.00 m		角 度		使用機種		ハンマー 落下用		

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色相対調密度	記相対密稠度
(m)	(m)	(m)	(m)				事
1	-239	250	250	××××	貝殻混じり細砂	茶褐と暗褐	中ぐらいいく密な
2	-239	250	250	××××	風化凝灰岩	黄灰	0.90mまで中砂 下部は細砂で貝殻の混入が少ない
3	-239	250	250	××××	風化凝灰岩	黄灰	全体的に風化 軽石群が混入
4	-239	250	250	××××	風化凝灰岩	黄灰	
5	-569	330	580	××××	泥質砂岩	暗灰	風化が少なく棒状コアを採取
6	-569	330	580	××××	泥質砂岩	暗灰	
7	-689	120	700	××××	泥質砂岩	暗灰	

第2-6図 ボーリング支柱状図

調査名 青少年研修施設（開陽丸）地質調査委託業務

事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	N o . 6		調査位置		江 差 町		北 緯		シートNo.
発注機関	財団法人 開陽丸 青少年センター				調査期間	昭和63年 7月16日～63年 7月17日		東 経	
調査業者名	常 盤 ボーリング株式会社 電話(011-751-4841)				主任技師	コ ア 鑑定者		ボーリング責任者	勝 又 寿 悦
孔口標高	G H = 2.08m				地盤地配		ハンマー 落下用		トンピ法
総掘進長	8.00m				試験錐機		エンジン		
	角 度		方 向		錐 試 錐 製 O P - 1		ヤンマー製 N F - 110 型		ボンプ

標尺	標高	層厚	深度	柱状	土質区分	色相	相対稠密度	記	孔内水位	標準貫入試験	原位置試験	試料採取	掘進
(m)	(m)	(m)	(m)			調度			(m)	度	試験名	深	室内試験
									測定月日	10cmごとの 打撃回数	N 値	試験番号	年月日
										深	度	度	
1									7/16	0.65	1	4	7
2					盛土	暗灰		上部0.40mまで微混じりシルト 下部泥質砂岩の盛土	198	0.95	2	30	16
3	-0.92	300	300						7/16	1.65	9	50	16
4	-2.27	135	435		白砂混じり細砂	暗褐		砂は粒子やや均一な細砂 貝殻の混入やや多い	198	2.65	3	9	16
5					風化凝灰岩	黄灰		全体的に風化	7/16	2.95	2	30	16
6									7/16	3.65	2	30	16
7	-4.92	265	700		泥質砂岩	暗灰		粒子均一な細粒砂岩 風化が少ない	7/16	3.95	50	10	16
8	-5.92	100	800						7/16	4.65	44	6	16
									7/16	5.50	50	12	16
									7/16	5.62	50	0	16
									7/16	6.50	50	0	16
									7/16	7.50	50	0	16
									7/16	7.50	50	0	16

第2-7図 ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

事業・工事名

ON 1-1 NO.

ボーリング名	N o . 7		調査位置		江 差 町		北 緯	
発注機関	財団法人 開陽丸 青少年センター		調査期間		昭和63年 7月10日～63年 7月11日		東 経	
調査業者名	常盤ボーリング株式会社 電話(011-751-4841)		主任技師		ア コ 鑑 定 者		ボーリング グ責任者	
孔口標高	G H = -0.92m		方 向		北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		トンピ法	
総掘進長	5.00m		地盤		硬質 鉛直 90°		ハンマー 落下用具 ポンプ	

標尺	標高 (m)	層厚 (m)	柱状 深度 (m)	土質区分	色相	相対密度	記述
	-132	0.40	0.40	目録番号 しりし 砂	茶褐		部分拍収に中粒砂
1							
2				泥質砂岩			全体的にやや風化 粒子やや均一な砂岩 棒状コア30~50cm程度を採取 できる
3					暗灰		
4							下部やや破砕状部分ある
5	-592	460	500				

第 2-8 圖

調查名稱 青少年研修施設（開陽丸）地質調査委託業務

事業・工事名

ボーリング名	N o . 8		調査位置		江 差 町		北 緯		シート No.
発注機関	財団法人 岡 陽 丸 青 少 年 セ ン タ ー				調査期間		昭和 6 3 年 7 月 1 3 日 ~ 6 3 年 7 月 1 4 日		東 経
調査業者名	常 翠 ボ ー リ ン グ 株 式 会 社 電話 (011-751-4841)		主任技師		現 場 代 理 人		コ ン プ ュ ー タ ー 鑑 定 者		ボ ー リ ン グ 責 任 者
孔口標高	G H = 0.29 m		方 向		地 盤 質 地		試 錐 機		ト ン ビ 法
総掘進長	7.00 m		角 度		使用機種		エンジン		カ ノ ー V 6 - A

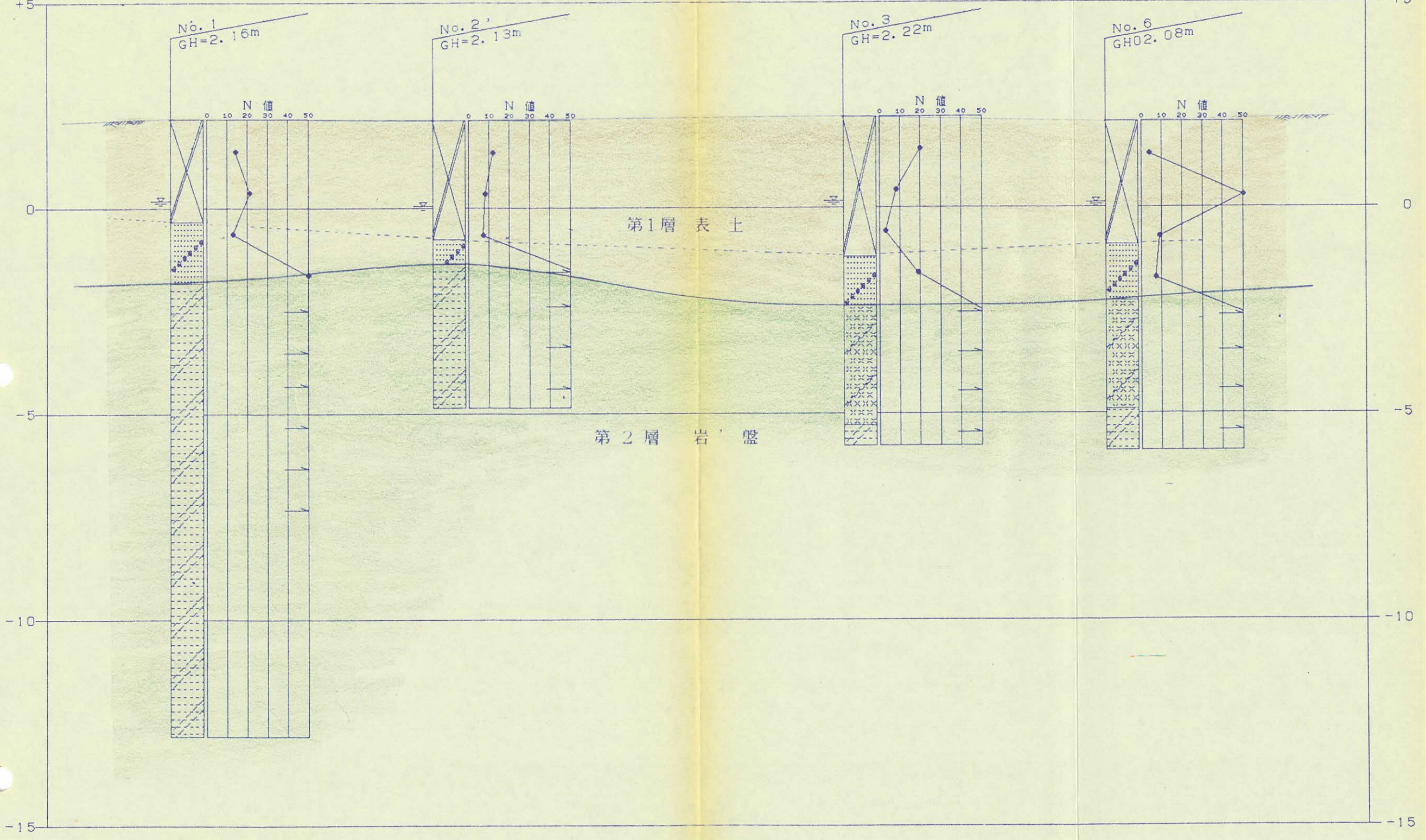
標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色相対調度	相対稠密度	記事
1	(m)	(m)	(m)	(m)	貝殻混じり細砂	茶褐色	密な	貝殻の混入やや多い 砂は粒子や均一な細砂
2	-1.98	227	227		風化凝灰岩	黄灰		全体的に風化 軽石礫を多く混入
3								
4								
5	-5.11	313	540		泥質砂岩	暗灰		風化が少なく新鮮 粒子均一な細粒砂岩 棒状コアを採取
6								
7	-6.71	160	700					

第3-1图 土层断面图 (A-A')

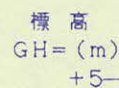
H=1:500
V=1:100

标高
GH=(m)
+5

高
GH=(m)
+5



土層断面図



H = 1:500
V = 1:100

標高
GH = (m)
+5